

豊田でアドバイザー研修

NPO日本ビオトープ協会

NPO法人日本ビオトープ協会(東京)の「ビオトープアドバイザー認定試験研修会」が11日、13日の3日間、豊田市の産業文化センターをメイン会場にして行われた。今年度行われる全国3会場の1つだ。

ビオトープについての認定制度を設けている団

体は3つある。この中で「日本ビオトープ協会」は造園土木業者を中心

に、現場主義で施工技術も含めた研修を行い、技術者を育てているのが大きな特徴だ。新規受験者は3日間の研修と筆記試験、5年に1度の更新者は1日間の研修を受ける。今回の豊田会場には全国各地から75名が集まった。

現場研修では豊田市立堤小学校や拳母小学校の学校ビオトープが会場となり、同協会の副会長を務める鈴木元弘さん(豊田市中金町の㈱鈴鍵副社

長)が維持管理等についての講師を務めていた。

【新見克也】